学校番号	３０２３

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済資料集 2020(清水書院)・2021 ベストセレクション大学入学共通テスト政治・経済重要問題集（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の政治・経済のさまざまな事象について、相互に関連づけて多面的・総合的に取り扱う。
・社会全体の基本的なフレームワークを理解させる、主体的に考える力を養う。
・経済理論については、具体例な事例を用いて説明し理解させる。
・抽象的な概念についても、できるだけ具体的な実例を用いて説明し、理解させる。

2　学習の到達目標

・現代の政治と経済のさまざまな課題について、自ら主体的に考えられるように指導する。
・現代社会のさまざまな課題や対立について、公正に判断する能力を養う。
・近い将来、社会のリーダーとして活躍していくのに必要な資質と態度を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会に対する興味・関心を高めて、社会に積極的に関わろうとする意欲を持たせる。そして、効率と公正について、バランスをとりながら、両立させようとする態度を養う。	政治や経済を中心とする現代社会のさまざまな課題について、主体的な解決方法を探究する。また、できるだけ公正に判断し、判断した理由を伝えられるようにする。	現代社会のさまざまな事象について、統計資料なども用いて現状を正確に把握する。そして、現状を分析して、その要因や背景を探究する。	現代の社会に成り立ちについて、その歴史的な成立過程から理解する。そして、現状については、幅広く正確に認識してその仕組みを理解する。
評価方法	レポート	定期考査	定期考査	定期考査
	［主題学習］ ディベートや発表	［主題学習］	［主題学習］	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階で評価します。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現在の経済のしくみと特質	第1節　経済活動の意義と経済体制 1人間と経済活動 2資本主義社会の発展と変容 3経済活動の主体	— ○	— ○ 	— 	— ○ ○ ○	d資本主義の変遷を理解させ、その問題点も理解している。 dアダム・スミス、リカード、マルクス、フリードマンの経済思想を理解している。 a・b現代経済に関心を持ち、検討しその問題点を発表できる。	・定期考査 ・授業内発表
		第2節　現代経済のしくみ 1　市場経済のしくみ 2　物価の動向 3　国民所得と経済成長 4　財政のしくみと租税 5　金融のしくみと働き	— ○ ○ ○	— ○ ○ 	— ○ ○ ○ ○	— ○ ○ ○ ○ ○	d政府・家計・企業の３つの経済主体の基本的な役割を理解している。 c・d市場機構(メカニズム)を理解させ、需要供給曲線を使いこなさせる。 a・bインフレとデフレについて理解し、物価にうごきが経済に与える影響に関心を持つ。 c・dストックとフローの概念を学び。経済成長率の計算ができる。 dＧＮＰを中心にして。ＧＤＰ・ＮＮＰ・ＮＩなどさまざまな経済指標を理解している。 a・b将来の納税者として考察し、発表できる。 d現在の金融の役割を理解している。	
		第3節日本経済と福祉の向上 1　戦後日本経済のあゆみ 2　中小企業と農業・食料 3　公害防止と環境保全 4　消費者問題と消費者保護 5　労使関係と労働市場 6　少子高齢社会と社会保障	— ○ ○	— ○ ○ 	— 	— ○ ○ ○ ○ ○ ○	d戦後の日本経済の歴史と現状について理解している。 a・b中小企業、農業の現状を理解して考察し、発表できる。 a・d地球環境問題や消費者問題について現状を理解し、興味・関心を持つ。 a・d労働問題の現状を踏まえて、課題の解決方法を考察できる。 d日本の社会保障制度の現状を理解し、自らの問題として意識している。	・定期考査 ・授業内発表
後期	国民経済と国際経済	第１節　国際経済の動向 1　貿易と国際収支 2　国際経済のしくみ	— ○	— ○ ○	— 	— ○ ○	d国際経済の仕組みや構成について理解している。 d貿易の理論と国際収支の仕組みを理解している。 a・b歴史的な経緯を理解させて、現代の課題について考察し、発表できる。	・定期考査 ・授業内発表

		第２節　国際経済の課題と国際協力	—	—	—	—	d 国際経済のグローバル化について理解している。	
		１地球環境と資源・エネルギー問題		○	○	○	b・d 地球環境問題とエネルギー問題を理解し、その課題を考察できる。	
		２発展途上国の経済と経済協力				○	d 南北問題と南南問題を理解している。	
		３国際経済における日本	○	○			a・b 国際経済における日本の役割について考察し、発表できる。	
	現代の国際政治	第１節　国際政治の動向	—	—	—	—	d 現代の国際政治の状況について、客観的に理解している。	・定期考査 ・授業内発表
		１　国際社会の特質	○			○	d 第二次世界大戦後の国際政治の変遷と課題を歴史的に理解している。 d 国際社会の成立過程やその仕組みを理解している。	
		２　国際社会と国際法	○			○	b・d 国際法の役割を理解し、現在の国際社会の課題について考察できる。	
		３　国際社会の組織化		○		○	b・d 国際連合など国際社会のさまざまな国際組織について考察できる。	
		４　戦後国際政治の展開	○			○	d 東西の冷戦構造から冷戦終結後までを歴史的に概観し、理解している。	
		第２節　国際社会の意義と日本の役割	—	—	—	—	b・d 第二次世界大戦後の日本と国際社会との関わりについて考察できる。	
		１核兵器の廃絶と軍縮問題	○	○		○	a・b 東西冷戦時代を理解させて、軍縮問題について考察し、発表できる。	
		２地域紛争と人種・民族問題			○	○	d 冷戦後の地域紛争について民族問題とリンクさせながら理解できる。	
		３日本の国際的地位と役割	○	○		○	a・b 国際社会にける日本の立場について考察し、発表できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。